



いなむら

# 稲村ひさお 道政だより

2016年 冬号

発行

稲村ひさお事務所  
砂川市晴見3条北10丁目9番4号  
TEL・FAX 0125-54-3385

## 安心・元気な空知をめざして ～3期目も全力で走り続けます～

新年明けましておめでとうございます。  
皆様には健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、去年は戦後70年の節目の年を迎え、国民全体が平和の大切さを再認識し、今後も末永く続くことを願う年となるはずでした。

しかし、国民の声を全く聞こうとせず、国家権力の横暴を抑えるための憲法すらも無視した安倍政権の暴走により、日本の平和と国民の安全が脅かされようとしています。

道政においても当面する課題は山積しており、道民に安心と元気を取り戻すため、

私は地方財政の課題や地域医療、住民サービスの確保などを中心に道議会の場で活動してまいりました。3期目は会派の幹事長という大役を仰せつかり、これまで以上の重責を感じながら活動しています。皆様への感謝、そして皆様からの期待を胸に、今後も空知の発展のため、全力で走り続けてまいります。

本年が皆様にとってご健勝で幸多き一年であることをお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



北海道議会議員 稲村 久 男

## 稲村ひさおの活動アルバム Activity record



安保法案反対!



支え続けてくださる皆様のために



全力でたたかいます!



連合後援会総会



夕張道政報告会



栗山道政報告会



深川道政報告会

稲村ひさおホームページ <http://www.i76rider.ecweb.jp/>

稲村ひさお

検索



# 議会活動報告

## ■ 安全保障関連法案に待った！

参議院において安全保障関連法案をめぐる与野党の攻防が大詰めを迎えていた9月、道議会においても第2回定例会が開催され、各会派の賛



否を訴える動きが過熱していました。私は、民主党・道民連合会派を代表し本会議において「安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書」を提案しました。

安全保障関連法案は個別的自衛権のみを許容してきた憲法第9条に明らかに違反する法案であり、6割以上もの国民が反対、8割以上もの国民が説明不足としています。私は安倍政権に対する怒りと、法案が道民生活を脅かすことへの危機感を込めて提案説明しましたが、道議会で過半数を占める与党会派は理解せず意見書は通りませんでした。そして数日後、参議院では強行採決により法案が成立してしまいました。

しかし、私は諦めません。今回の法案に対しては、全国的にも道内でもこれまでにない抗議行動が展開され、法案成立後も様々な形で反対運動が継続しています。これだけ国民に理解されない法案です。私も皆様とともに平和を守るために訴え続けていきます。

## ■ 空知産炭地議員連絡協議会の要請活動

空知はかつて高度経済成長を支える石炭を豊富に産出し、石炭産業は空知の基幹産業の1つでした。しかし、エネルギー政策の転換により炭鉱は閉山され、経済の低迷、人口の減少など、地域環境は厳しさを増しています。私は、産炭地の経済再生と財政確立は空知の住民を代表する政治家の責務と考え、活動の柱に据えてきました。



平成22年2月、こうした思いを共有する空知管内5市1町の議員等が「空知産炭地議員連絡協議会」を結成し、私が会長となって、各市町長・議員との意見交換会の実施、中央

省庁や国会議員等に対する要請行動などを継続しています。

この活動が実って、国が地方に配分する交付税を増額するように制度の一部を変更させるなどの成果もありました。昨年も11月には、協議会の議員の皆さんとともに中央省庁を訪問し、産炭地の課題解決に向けた要請行動を行っています。今回の主な要望項目は次のとおりでした。

- ・空知産炭地に対する地方交付税の充実
- ・木質バイオマス発電実験プラントの誘致
- ・クリーン・コール・エネルギーの有効活用
- ・産炭地露天掘り企業への出炭奨励
- ・炭鉱関連施設群の文化財としての保存
- ・空知産炭地総合発展基金の上積み

地方は国の言いなりであってははいけません。私は今後も地域の実情をしっかりと訴えていきます。



## ■ 警察署の再編

北海道警察は、空知管内の4警察署と上川管内の1警察署を隣接する警察署に統合する方針を発表しました。統合される警察署のある市町や地域の皆様からは、反対や不安の声があがっており、私はそうした地域の意見を汲み取りながら道警本部に対する働きかけを強めています。

第4回定例会の代表格質問や総務委員会の場合でも、私の所属する会派から警察署の再編に関する質疑を行わせ、道警本部の姿勢を質しました。質問では、北海道全体の再編計画が示されていないことや治安の悪化が懸念されること、統合の対象となる警察署が空知管内に偏っている点などを追及していますが、道警は再編を進める姿勢を崩さず、再編による有効性ばかりを説明し納得できません。また、地域の方々の意見を十分に聞くよう強く指摘し、道警側も地域の声を真摯に受け止めると答えています。今後の道警の動きをしっかりと睨みながら、引き続き地域の安全・安心を守るために行動していきます。